

諏訪市文化センター運営検討委員会 令和6年度 実施報告について

令和7年3月31日

諏訪市教育委員会

目次

1. 運営検討委員会の概要

2. 令和6年度 運営検討委員会のスケジュール

3. 検討内容

3-1. 第1回運営検討委員会

3-2. 第2回運営検討委員会

3-3. 第3回運営検討委員会

3-4. 第4回運営検討委員会

3-5. 第5回運営検討委員会

3-6. トライアルイベント

4. 総括

5. 今後のスケジュール

1. 運営検討委員会の概要

1. 運営検討委員会の概要

目的

1. 当館の特徴を活かしつつ、「文化芸術に親しみ、生涯にわたって自発的に学び続け、個人やグループが学んだ成果を活かし、文化芸術を通じて仲間を広げ、人と人とがつながる」ための施設管理や運営を検討する。
2. 改修後、新たな賑わいの創出を図るための施設管理や運営を検討する。

メンバー

名前	分野
二村 悟	学識経験者
高見 俊樹	学識経験者
石城 正志	文化芸術関係者
中島 昌之	文化芸術関係者
宮嶋 孝枝	文化芸術関係者
木村 修子	園児または児童生徒の保護者
河西 風花	市内高等学校の生徒

名前	分野
三澤 凜	市内高等学校の生徒
高津 璃子	市内高等学校の生徒
牛越 雅紀	教育関係者
金子 雄二	まちづくり関係者
石田 名保子	公募による市民
山田 佳子	公募による市民
宮坂 寿子	公募による市民

任期

2年間（令和6年7月29日～令和8年7月28日）

2. 令和6年度 運営検討委員会のスケジュール

2. 令和6年度 運営検討委員会のスケジュール

年度	回	日程	検討事項
R6年度	1	令和6年7月29日（月）	・ 諏訪市文化センター運営検討委員会の進め方について ・ 諏訪市文化センター大規模改修にかかる取組状況について
	2	令和6年8月30日（金）	・ 第1回運営検討委員会に対する委員からの意見等について ・ ワークショップ①「生まれ変わる文化センターでやりたいこと、楽しみたいことは？」
	3	令和6年10月22日（火）	・ 前回のふりかえり ・ ワークショップ②「施設の将来像と事業展開を深掘りしよう！」
	4	令和6年12月17日（火）	・ 前回のふりかえり ・ ワークショップ③「ホワイエで開催できるイベントを企画し、実践しよう！」
	5	令和7年3月24日（月）	・ 実施設計の内容について ・ 前回のふりかえり ・ トライアルイベントについて ・ 来年度のスケジュールについて

3. 検討内容

3-1. 第1回運営検討委員会

概要

- 日 時 令和6年7月29日（月） 17：30～19：00
- 場 所 諏訪市公民館2階 講義室
- 内 容
 - ・ 諏訪市文化センター運営検討委員会の進め方について
 - ・ 諏訪市文化センター大規模改修にかかる取組状況について
- 出席者 委員14名 ※傍聴者：一般3名、新聞記者5社

委員会の様子



3-1. 第1回運営検討委員会

委員からの質問・意見と回答

No.	質問・意見	回答
1	あくまで意見聴取が目的なので、委員会としての統一見解を作成する必要はなく、分野別の整理が出来れば、と考えていましたがそれによろしいでしょうか。	お見込のとおり、その方向で進めていきたいと考えています。
2	「管理運営に関する意見」とは、改修完了後の施設について「活用への夢を語る」ことでも良いのでしょうか。高校生委員の意見はその方向に向かっており、それを尊重したいと思いましたが。	お見込のとおり、その方向で進めていきたいと考えています。
3	本委員会では、どこまで具体的な検討が必要なのでしょう。予算も実現性も無視して「もっと文化センターがこうなって欲しい」というようなことを話す場なのかと思っていましたがどうお考えでしょうか。	お見込のとおり、その方向で進めていきたいと考えています。
4	委員会の目的について、設置要綱に基づき委員長の立場でもご説明したつもりでしたが、必ずしも全委員に共有されていないように感じました。改めて事務局より説明が必要かもしれません。	頂いた件については後ほど、P7で説明させていただきます。
5	ご提案した「施設見学」はイメージづくりのために必要と考えます。一方それが施設面での要求に繋がってしまうかもしれません。ハード面での要望には限度があることについても改めてご説明をお願いしたいと思います。	頂いた件については後ほど、P7で説明させていただきます。
6	文化センターに思い入れのある委員が集まっているので、丁寧に意見を聞く必要があると思います。そのためには、会議の方向性（又は方法）の確認をお願いしたいと考えています。	頂いた件については後ほど、P7で説明させていただきます。
7	昨日の委員会の添付資料のような条例類とは別に、運営指針といったものが必要だと思いますが、策定はお済みでしょうか。あるいは、これを本委員会で提案するのでしょうか。 ※劇場法（「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」）において、劇場と名乗るには、設置者（市）によって「定められている文化芸術振興のための条例・計画等に則しつつ、同方針を定める」必要があります。資料を拝読する限り、『劇場・音楽堂』に当たる施設を目指されていると思われますが、文化センターは現状、「貸会議室」に近い運営だと感じました。	「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」および「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」において、地方公共団体の責務についてが示されています。また、諏訪市教育振興基本計画において、生涯学習・文化芸術についての基本的方針を定めますが、これに基づく文化センターの指針については、前回お示したビジョンをベースとしながら、検討を進めたいと考えています。
8	運営方法について、直営か指定管理（或いは委託）かは、本委員会で検討されるべきことでしょうか。 文化センターの理想像を本委員会で提案し、方向付けをした上で、実際の担い手に指針・方針として受け渡すのであれば、直営か指定管理かを検討するのは事務局で良いのではないのでしょうか。 ※本委員会で提案された理想像を実現するには、どの運営方法が良いかで選択する。どちらにもメリット・デメリットがあると思っていますが、それを本委員会で選択できるかは不明です。	お見込のとおり、管理の形態については、ご提案いただいた内容や、委員会でいただいたご意見を参考とさせていただきます。市教育委員会で検討させていただきます。
9	・リニューアル後の管理費支出・事業費支出の予算案については、可能な限り本委員会には公開していただきたいが、予算案はあるのでしょうか。もしくは、本委員会の提案に合わせて予算が追いかける予定でしょうか。 自主事業費支出も全て市で持つのであれば良いですが、劇場運営のセオリー的には貸館収入＋市からの補助予算で自主事業支出は賄うことが多いです。特に指定管理の多くはこの形です。つまり「貸館収入を上げるためにどうするのか」の検討も場合によっては必要かと思っています。 ・文化センター使用料については、付帯設備費と電気使用量は取っていますか。 ※上記に付随して、利用率の高さに貸館収入がそぐわない気がします。減免でのホール利用も利用率に入っていて、それが半数以上を占めているのではないのでしょうか。これでは何も検討できないので、ホールの貸館利用率（有料貸分）をお出してください。	【現状】 ・リニューアル後の管理費の予算案は、実施設計を進めていく中で検討するため、現在はありません。 ・使用料に電気料も含まれているため、別途徴収はしていません。 ・付帯設備費は、ピアノ、プロジェクターのみ徴収しています。
	※これらの質問は、全て「リニューアル後は貸館利用率を上げつつ、自主事業も行う」場合の質問です。「リニューアル後については、貸館利用は現状維持で、自主事業を行うための諸経費は予算を増やして全額市で賄う」のであれば、「もっと売り上げを上げる」検討は不要なので、即、「どんな自主事業をしたいか」「にぎわいの創出（＝市民への無料開放）と貸館利用者・主催者への利便性の向上との折り合いどころ」の検討に入れたいと考えています。ちなみに、R4並みの600万～800万という事業収入ですと、モノにもよりますがコンサートは年間に2本できるかどうかくらいだと思います。どういう自主事業を年間でどのくらいやるか、ということによっても貸館への取り組み強化具合は変わります。	【回答】 貸館としての収入や自主事業についても、ご提案いただいた内容や、委員会でいただいたご意見を参考とさせていただきます。市教育委員会で検討させていただきます。

3-1. 第1回運営検討委員会

委員からの質問・意見と回答

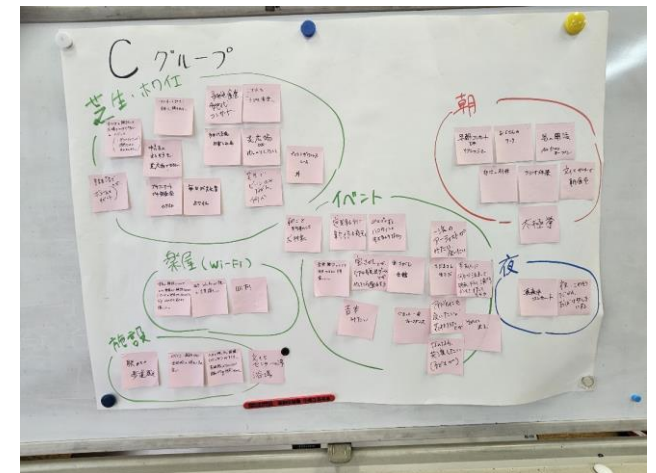
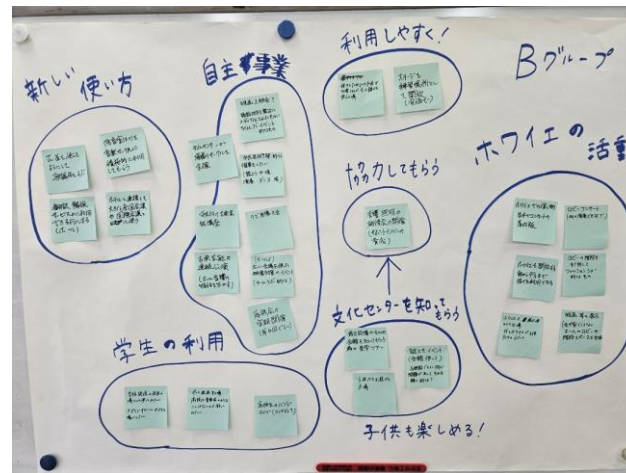
No.	質問・意見	回答
10	消防法的には大丈夫でしょうか。避難経路がよくわかりませんでした。	消防法のほか、各種現行法との適合を確認しながら基本設計を完了しています。
11	音漏れは大丈夫でしょうか。特に、新設する会議室類の音がホール（舞台上・客席）に漏れる心配はないのか、検証済みでしょうか。	音漏れについては、実施設計において確認をしていきます。
12	・館内空調はブロッキングできますでしょうか。利用の無い日の節電対策は大丈夫でしょうか。特に、ホールの利用が無い日でも、ホワイエ開放・楽屋をフリースペースに開放とのことであれば、開館日の営業時間中はずっと光熱費が全館にかかり続けるということでは、と見えてしまいました。 ・廊下を作って回遊型は悪くないと思いますが、楽屋をフリースペースに開放にすると、前日フリースペースにしていた楽屋を利用日の入館時間前までに楽屋の形状に整えなければならない訳で、それは大丈夫なのでしょうか。また、恒常的に使えるわけではないフリースペースにどの程度のニーズがあるのかも疑問です。それであれば、いっそのこと楽屋も予約制にして貸し出すのも良いかと思えます。 ・ホール利用の申し込み期限は利用日1週間前なのでしょうか。それであれば、1週間前になって、その日がフリースペースになるかどうかやっとわかるというものなのか、ホワイエについても同様です。例えば1週間しか期間がないのに「ホワイエピアノコンサート」は企画できないとなれば、ホワイエ利用を前提でホールの一般への貸し出しをしない日が発生するってことになるので、稼働率がどんどん下がっているということです。（自主事業としてやるなら〇ですが）	・現状のホール棟の冷暖房については、ON/OFFの2択のみであり、温度調節もできない仕様となっていますが、改修後は各集会室ごとやホワイエ等の空調口ごとの調整を含むON/OFFはできる仕様を計画しており、現状に比べると利便性が向上すると考えています。 ・楽屋兼フリースペースの使用方法や申し込みの方向についても、ご提案いただいた内容や、委員会でもいただいた意見を参考に、市教育委員会で検討させていただきます。 ・現状の条例や規則については、文化センターを貸館として利用するためのものであるため、リニューアル後の利用ではそぐわない点も出てくることになります。その点についても何か良いアイデアがあれば、ご提案やご意見をいただければと思います。
13	2024年4月から 改正障害者差別解消法が施行されていますので、劇場においても合理的配慮/アクセシビリティ向上は必須です。バリアフリートイレの増設など、良い取り組みも多数だと感じていますが、EV問題の事務局からの説明を聞いていて少し不安になりました。EV問題ですが、今更EVの位置は変えられないと思いますが、改正障害者差別解消法にも合理的配慮は必須です。つまり、改修案のEVにて2階にあがって、回廊を誘導し、楽屋を通り抜けて2階客席にご案内が落ち着きどころだと考えています。ただし気になるのは、「客が通り抜ける楽屋なんて使えない」問題です。1階の諸室を楽屋としても使えるようにするのが良いのではと思いました。2階楽屋を利用される主催の場合には、2階客席は開放しないか、階段でしか2階に上がれないことを事前に告知してもらい、障がいのある方（自力で階段が難しい方）には1階席を優先的にご案内する（対話による合理的配慮の例です）等で、対応はこのままでも可能です。（という説明が合理的配慮とは、ということも含めて事務局に用意されていると良いと思います。恐縮ながら専門的知識が足りてない印象です）	・エレベーターの位置については基本設計の内容を基本としますが、合理的配慮/アクセシビリティ向上については、実施設計の中で確認し進めていきます。 ・ご提案いただいた内容や、委員会でもいただいたご意見を参考とさせていただきます。市教育委員会で検討させていただきます。
14	（外注）舞台さんの控室はどこになるのでしょうか？とにかく、ホールの裏側がお客様と密接しています（ホールバックヤードに貸館の会議室類が食い込んでいる印象）。これだと、ホール利用の主催者のスタッフ陣は気を遣うだろうと単純に思いました。（ホール貸館利用時は開放しない会議室を設ける等で工夫は出来るかもしれません）	お見込のとおり、集会室の一部をバックヤードにしたり、開放しないなどの使い方が必要だと思います。その点についても何か良いアイデアがあれば、ご提案やご意見をいただければと思います。
15	資料に「専門職員の設置」という記述がありましたが、これは、技術スタッフさんのことでしょうか。あるいは、制作スタッフのことでしょうか。いずれにせよ、専門的人材がいてくれる方が良いに越したことはないですが、それも、リニューアル後の文化センターのイメージに寄るという印象です。他県文化施設含め、技術スタッフ常駐館ばかりではありません。ホール稼働率によっては、民間委託によって必要な日に来ていただくという形が取れると思います。制作スタッフについても同様で、「自主事業」の建付けによるという印象です。専門職員の幅でいうならば、施設管理・警備の分野の専門職員も場合によっては必要です。現在のように、シルバーさん委託という形でも良いのですが、どのセクションも予算が潤沢にあるということであれば、専門的人材が居るにこしたことはないのは前提です。	専門職員についても、様々な職種、雇用形態等考えられると思います。ご提案いただいた内容や、委員会でもいただいたご意見を参考とさせていただきます。市教育委員会で検討させていただきます。
16	説明資料P26の「省エネ計画」について、地球環境にやさしい建物、一般に言われている「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）」の位置付けとなるのでしょうか。	ZEBについては、設計当初から検討をしていましたが、目標達成にかかる費用等を考慮すると、ZEBの位置付けまでの改修は難しいと考えています。ただし、諏訪市ゼロカーボンシティ宣言における脱炭素化社会を目指すため、建物の高断熱化や主燃料の変更、太陽光パネルの設置等により、「官庁施設の環境保全性基準」による水準のBEI ≤ 0.9を上回るBEI ≤ 0.8の達成を目指しています。
17	文化芸術活動拠点施設のオープン化について、市民が気軽に文化・芸術にふれあい、次世代にその文化が継承され、文化と平和の象徴となる施設になることを期待します。	リニューアル後の文化センターについて、委員の皆さんと一緒に目指していきたいと考えてます。

3-2. 第2回運営検討委員会

概要

- 日時 令和6年8月30日（金） 17：30～19：15
- 場所 諏訪市文化センター 第3集会室
- 内容
 - ・第1回運営検討委員会に対する委員からの意見等について
 - ・ワークショップ①「生まれ変わる文化センターでやりたいこと、楽しみたいことは？」
- 出席者 委員11名 ※傍聴者：一般2名、新聞記者3社

委員会の様子



3-2. 第2回運営検討委員会

ワークショップの結果

WS①テーマ「生まれ変わる文化センターでやりたいこと、楽しみたいことは？」

※広報すわ12月号挟み込みより

Aグループ

③

■学習・研究・発表会、楽しい！

- ・発表や演奏のリアルタイム発信や簡単なコンテンツ作り
- ・文化芸術発表会、学習会やシンポジウムのコーディネーターや助言者が欲しい
- ・ポスター発表、壁新聞、映像発信の場を！
- ・楽しくオープンな研究会、シンポジウム、学術発表会を！+懇親交流会
- ・(研修会)分科会スペース+交流スペース

■参加型

- ・子どもからお年寄りで作る舞台
- ・高齢者が子ども達に昔の遊びを教える場所
- ・アートや演奏を素人として楽しむ(表現者との交流)(わかりやすい表示)
- ・芸術のワークショップ
- ・楽器を利用して自由に使わせてもらえる場所
- ・思いっきり大きな声が出せる場所(歌ったり、騒げる)

■鑑賞型

- ・伝統芸能を定期的に楽しむ会・学ぶ会やスペース
- ・サブスクで鑑賞会など

■フェス

- ・今までの市の文化祭よりもうちょっとラフな文化祭
- ・FUJIロックフェスみたいな
- ・高校生デザイン

■居場所・交流・飲食スペース

- ・飲食(外で)しながら集まって楽しむ
- ・自由に遊べる子どもの居場所
- ・家族皆んなで足を運べる場所(出入りが気軽にできる)
- ・中庭を使って何か
- ・利用者同士の交流スペース(フリー)お茶飲み場

■未来志向のヤバイ話

- ・役所の匂いのしない運営助言者が欲しい
- ・「登録有形文化財」の探検隊、学習会
- ・補助金 or 人的補助の相談窓口

■学校帰り

- ・学生が学校帰りに学習できる場所
- ・学校の休み(夏休み、冬休み)の学習の場所

■駅周辺

- ・会に行ける歌手！の毎日コンサート(柳並公園でリング箱で)
- ・駅前の賑わい創出(空き家、空き地、空き人)



③

Bグループ

①

■学生の利用

- ・学校関係の発表の場として使ってみたい
- ・気軽に行くことができる場
- ・ダンス発表する場
- ・高校は音楽会のようなことはないで歌ってみたい
- ・高校生のバンドライブ(コンテスト?)

■文化センターを知ってもらおう。子どもも楽しめる

- ・舞台設備やその他会館を知ってもらう為の見学ツアー
- ・謎解きイベント(全館使って)各施設ごとに何か問題があって、それを解く的な?
- ・子どもたちが遊べる広場



②

■ホワイエの活動

- ・ホワイエでの催し物。並木でコンサートの屋内版
- ・ロビーコンサート(何の演奏でも可?！)
- ・ホワイエを開放する。朝から夕方まで誰でも利用できる。
- ・ロビーの階段を利用してファッションショー的なもの
- ・ホワイエで展示会のような場
- ・外とホワイエで子ども向けのイベント
- ・絵画等の展示(会議室ではなくホールのロビーや階段スペースを利用)

■利用しやすく

- ・借りるためにはお金が必要なので、もっと誰でも使える場
- ・ステージを練習場所として開放(安価で)

■協力してもらおう

- ・音響・照明の研修会の開催(サポートメンバーの育成)

Cグループ

③

■芝生・ホワイエ

- ・ホワイエを開放して、広場とつなげたいイベント(ボランティアが活発だから生かせるかも)
- ・ポラフェス、イベント
- ・子ども食堂
- ・多世代コンサート
- ・多世代交流
- ・お楽しみ会
- ・中高生の演奏を芝広場で聴きたい
- ・芝広場でゆっくりしたい
- ・芝生でビールを飲みながら何か
- ・テラノザウルスレース
- ・ストリートピアノ 自由に弾いたら...
- ・プチコンサート、プチ発表会
- ・手話落語とか
- ・毎日が文化祭

■楽屋(Wi-Fi)

- ・楽屋の開放について いつ楽屋が開放されるか(ホールの発表がないか)をHPなどで見ると嬉しい

- ・Wi-Fi が強いと大変嬉しい
- ・Wi-Fi

■イベント

- ・すわこと移動して犬神家
- ・定期的に新作映画
- ・コスプレするハロウィンの本格的なやつ
- ・音楽舞台としても使用できると大変嬉しい
- ・宝探しとかリアル脱出ゲームとかやったら面白そう
- ・宝探し
- ・吉本みたい
- ・一流のアーティストが見たい 会いたい
- ・さだまさし 生さだ
- ・有名人に何日か泊まって、映画、ドラマ、演劇、ダンス?作ってもら
- ・アイドルにも会いたい 花村そうとか。なんなら共演したい(子どもが)、それに出る
- ・ぐるっと一周フォークダンス

■施設

- ・ホワイエ・通路など全体的に明るい方がいい
- ・入口の押戸の模様(北の字)がすてき... 高級感はないけど自動ドアに印刷するのは
- ・文化センターの湯 浴場
- ・駅からの歩道強化

■朝

- ・早朝コンサートでリフレッシュ
- ・おじさんのワーク
- ・男の朝活 AM5:00 オープン
- ・部活の朝練
- ・ラジオ体操
- ・文化センターで朝食を
- ・太極拳

■夜

- ・真夜中コンサート
- ・夜、怖そうだから、お化け屋敷にする

③



■共通するキーワード

①芝生やホワイエの活用

②多世代の交流/イベント

③施設の機能/新しい使い方

④学生の利用

3-2. 第2回運営検討委員会

ワークショップのまとめ

①芝生やホワイエの活用

芝生広場やホワイエを使った多彩なイベント（コンサート、ティラノザウルスレースなど）を通じて地域活性化を図る。

②多世代の交流・イベント

子どもから高齢者までが一緒に楽しめるワークショップや文化活動を通じた世代間交流の場を提供する。

③施設の機能/新しい使い方

防音室や国際対応施設としての活用し、音響・照明の研修会など施設の技術的サポートを強化する。

④学生の利用

学校帰りや休暇中の学習スペース、発表会や文化活動支援の場として、学生に利用しやすい環境を提供する。

その他の提案・意見

交流スペースや鑑賞型イベントを設け、幅広い層が楽しめる場を提供。Wi-Fi強化や料金体系見直しで利便性を向上する。

3-3. 第3回運営検討委員会

概要

- 日 時 令和6年10月22日（火） 17：30～19：15
- 場 所 諏訪市文化センター 第3集会室
- 内 容 ①前回のふりかえり
②ワークショップ「施設の将来像と事業展開を深掘りしよう！」
- 出席者 委員13名 ※傍聴者：一般1名、新聞記者2社

委員会の様子

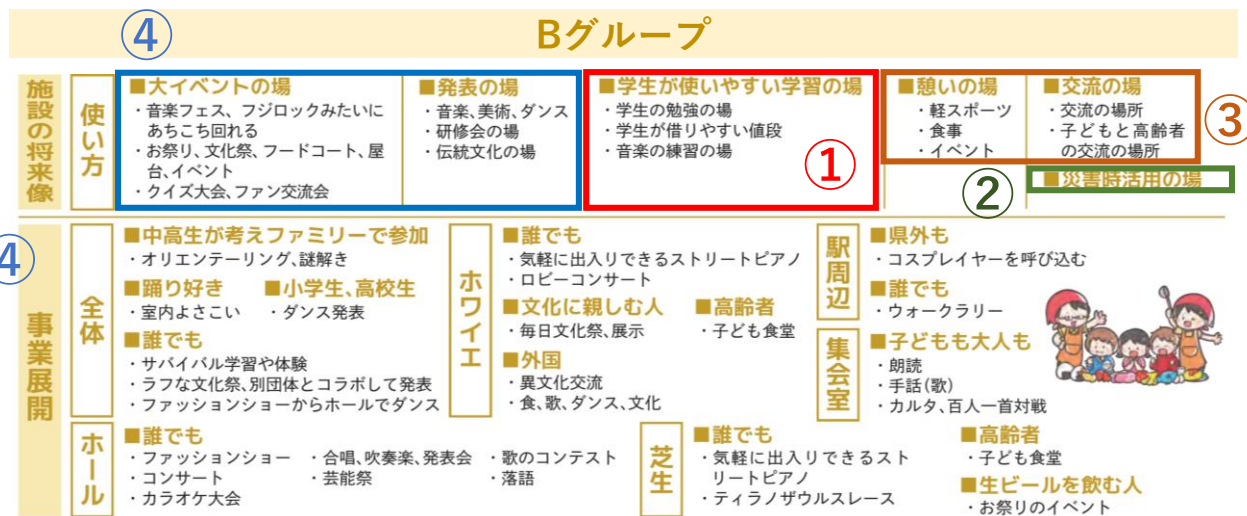
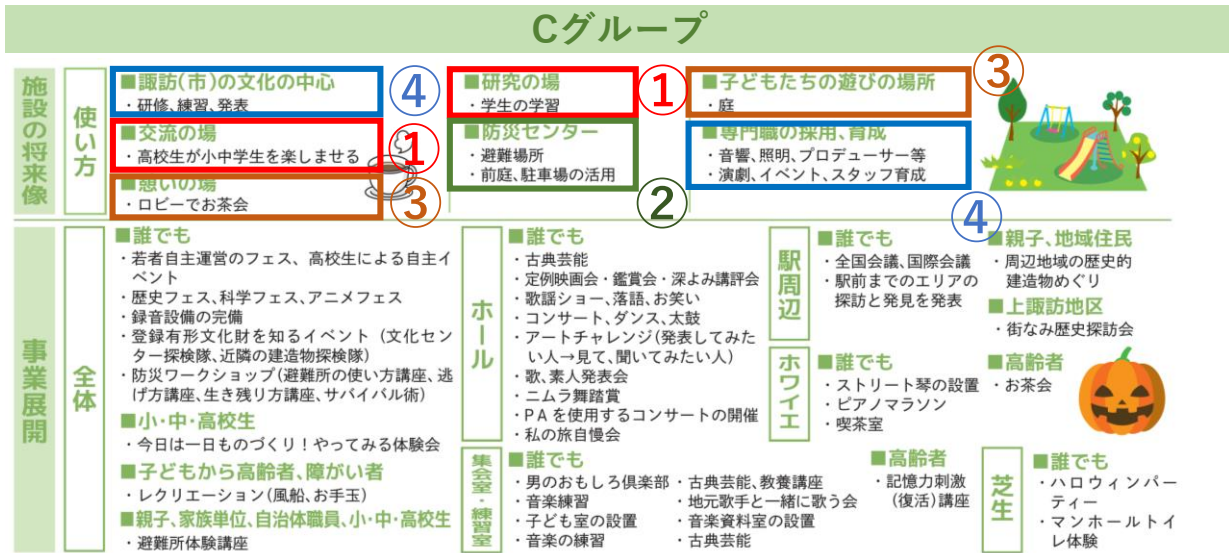
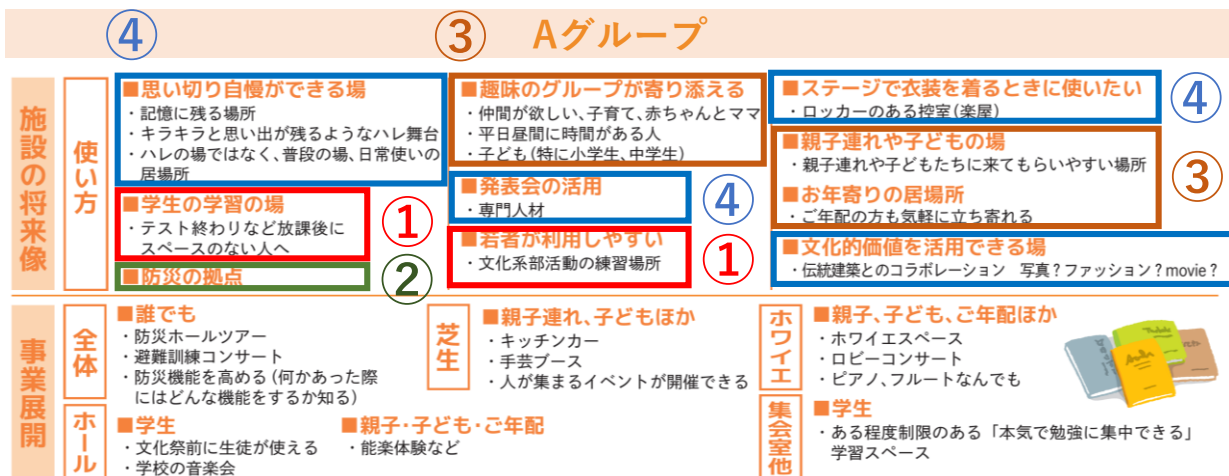


3-3. 第3回運営検討委員会

ワークショップの結果

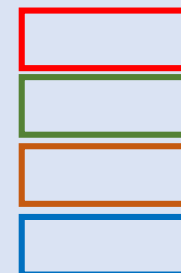
WS②テーマ「施設の将来像と事業展開を深掘りしよう！」

※広報すわ12月号挟み込みより



■共通するキーワード 【施設の将来像】(使い方)

- ①若者や学生が集まる場
- ②防災の拠点
- ③多世代交流/憩いの場
- ④文化芸術/発表の場



3-3. 第3回運営検討委員会

ワークショップの結果

①若者や学生が集まる場

事業展開

■全体

- ・オリエンテーリング、謎解き
- ・ダンス発表
- ・若者や高校生の自主運営フェス
- ・ものづくり体験会

■ホール

- ・文化祭前に生徒が使える、学校の音楽会
- ・高齢者が子ども達に昔の遊びを教える場所

■集会室

- ・学習スペース

②防災の拠点

事業展開

■全体

- ・防災ホールツアー、防災ワークショップ
- ・避難訓練コンサート
- ・サバイバル学習、避難所体験

■芝生

- ・マンホールトイレ体験

③多世代交流/憩いの場

事業展開

■全体

- ・レクリエーション（風船、お手玉）

■ホワイエ

- ・喫茶室
- ・異文化交流（食、歌、ダンス）

■集会室

- ・朗読、手話（歌）
- ・カルタ、百人一首対戦

■芝生

- ・キッチンカー
- ・手芸ブース
- ・子ども食堂

④文化芸術/発表の場

事業展開

■全体

- ・室内よさこい
- ・ラフな文化祭
- ・ファッションショーからホールでダンス
- ・歴史フェス、科学フェス、アニメフェス
- ・録音設備の完備
- ・登録有形文化財を知るイベント

■ホール

- ・能楽体験など
- ・ファッションショー
- ・ロビーコンサート
- ・カラオケ大会
- ・合唱、吹奏楽、発表会
- ・芸能祭
- ・歌のコンテスト
- ・古典芸能
- ・定例映画会
- ・歌謡ショー、落語、お笑い
- ・太鼓
- ・アートチャレンジ
- ・ダンス、ニムラ舞踏賞
- ・PAを使用するコンサートの開催
- ・私の旅自慢会

■ホワイエ

- ・ロビーコンサート、ピアノ、フルート
- ・毎日文化祭、展示
- ・ストリート琴

■集会室・練習室

- ・男のおもしろ倶楽部
- ・音楽練習
- ・子ども室の設置
- ・古典芸能、教養講座
- ・地元歌手
- ・音楽資料室の設置
- ・記憶力刺激（復活）講座

■芝生

- ・気軽に出入りできるストリートピアノ
- ・ティラノザウルスレース
- ・お祭りのイベント
- ・ハロウィンパーティー

■駅周辺

- ・コスプレイヤーを呼び込む
- ・ウォークラリー
- ・全国会議、国際会議
- ・駅前までのエリアの探訪と発見を発表
- ・周辺地域の歴史的建築物めぐり
- ・街なみ歴史探訪隊

3-3. 第3回運営検討委員会

ワークショップのまとめ

①若者や学生が集まる場

対象者: 若者、学生

内容: 学習スペース（放課後や試験期間）、文化活動（文化祭、音楽会）、趣味活動（ファッションショー、ダンス発表）

②防災の拠点

対象者: 親子、自治体職員、小・中・高校生、家族単位

内容: 防災教育（避難所体験、生存術講座）、地域全体の防災意識向上

③多世代の交流/憩いの場

対象者: 子どもから高齢者まで、親子、障がい者、家族

内容: 世代間交流（ワークショップ、食事会）、リラックス活動（芝生や軽スポーツ、風船遊び）

④文化芸術/発表の場

対象者: 地元住民、観光客、プロから初心者まで

内容: 音楽、伝統芸能などの展示・公演、異文化交流イベント（食事、ダンス、歌）

その他の利用提案

対象者: 親子連れ、高齢者、誰でも利用可能

内容: キッチンカー、科学フェス、ウォークラリー、記憶力刺激講座

3-4. 第4回運営検討委員会

概要

- 日 時 令和6年12月17日（火） 17：30～19：15
- 場 所 諏訪市文化センター 第3集会室
- 内 容 ①前回のふりかえり
②ワークショップ「ホワイエで開催できるイベントを企画し、実践しよう！」
- 出席者 委員12名 ※傍聴者：一般1名、新聞記者3社

委員会の様子



3-4. 第4回運営検討委員会

ワークショップの結果とまとめ

Aグループ	
イベント名	文化センターDE みて・さわって・かんじて！
目的・概要	誰でも多世代に文化に親しんでもらう
対象	誰でも・多世代
コンテンツ内容	
発表	・コンサート（フルート他） ・ボランティアG ・学生のミニ落語
展示	書、絵、短歌
飲食	くつろぎ・喫茶コーナー
体験	ストリートピアノ・琴、読み聞かせ
予算	レンタルサーバー代
周知方法	広報すわ、市HP、市LINE、チラシ

共通項目②

Bグループ	
イベント名	ダンスバトル大会
目的・概要	若者を文化センターに！
対象	若者
コンテンツ内容	
発表	・ダンスバトル →エントリーを募る →大会賞金？品？来たらもらえる →DJが知っている曲を流す ・社交ダンス・ディスココーナー ・ストリートピアノ・ギター？
展示	—
飲食	飲食
体験	—
時期	高校生の春休み期間
運営体制	若者運営でみんなで参加
その他	傷害保険、ミラーボール

共通項目①

共通項目③

共通項目④

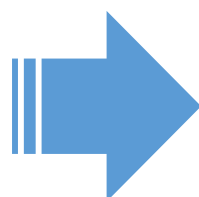
Cグループ	
イベント名	ロビーコンサート+喫茶
目的・概要	高校生が主役
対象	高校生
コンテンツ内容	
発表	・コンサート →アコースティック（高校生以外の希望する団体、小中の合唱部、小中の吹奏楽部） →高校生が主役（市内三校吹奏楽部、吹奏楽アンサンブル、清陵音楽部（合唱）、清陵室内コンチェルト部、清陵古典ギター部、二葉合唱部）
展示	美術部、書道部、華道部、写真部、文芸部
飲食	喫茶（諏訪実でやってもらえないか）、芝生でキッチンカー、演奏を聞きながら飲食
体験	—
その他	階段を使いたい（ミニファッションショー）

■共通項目① 対象：若者（高校生）向け

■共通項目② 発表内容：コンサート

■共通項目③ 展示：あり

■共通項目④ 飲食：あり



▶イベントコンセプト

若者（高校生）向けのミニコンサート

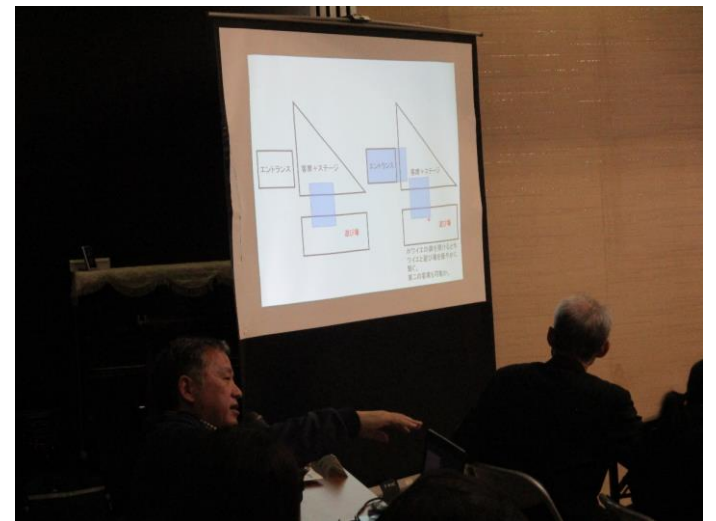
※展示および飲食等の詳細な企画については、イベントの規模や会場のキャパシティ等を考慮しながら決定する。

3-5. 第5回運営検討委員会

概要

- 日 時 令和7年3月24日（月） 17：00～18：00
- 場 所 諏訪市文化センター 第3集会室
- 内 容 ①実施設計の内容について ②前回のふりかえり
③トライアルイベントについて ④来年度のスケジュールについて
- 出席者 委員11名 ※傍聴者：一般1名、新聞記者3社

委員会の様子



3-6. トライアルイベント

イベント概要

■ イベント名

アオハルminiコンサート in 文化センター

■ 日時

3月20日（木・祝） 14:00～16:00

■ 会場

諏訪市文化センター ホワイエ

■ 出演

- 諏訪清陵高校：音楽部、室内コンチェルト部
- 上諏訪中学校：吹奏楽部
- 諏訪中学校：吹奏楽部
- 諏訪西中学校：吹奏楽部（金管八重奏）
- 諏訪南中学校：吹奏楽部、合唱部

■ その他

キッチンカーの出店（クレープ、コーヒー）



申込不要 入場無料

～諏訪市文化センター運営検討委員会 発案～

アオハルminiコンサート

in 文化センター

詳しくは、市HPをご覧ください！

諏訪市文化センターのリニューアル後の活用等を検討する「諏訪市文化センター運営検討委員会」のアイデアをもとに、文化センターのホワイエを会場とした、若者が主役となるトライアルイベント「アオハルminiコンサート in 文化センター」を開催します。誰でも観覧できますので、ぜひお越しください！

日時 2025. **3/20** **木・祝** 14:00 ▶ 15:30 (予定)
(開場13:00)

会場 諏訪市文化センター ホワイエ
(〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り 5-12-18)

出演予定

- 諏訪清陵高校：音楽部、室内コンチェルト部
- 上諏訪中学校：吹奏楽部
- 諏訪中学校：吹奏楽部
- 諏訪西中学校：吹奏楽部（金管八重奏）
- 諏訪南中学校：吹奏楽部、合唱部

キッチンカーも出るよ！

主催：諏訪市 教育委員会事務局 生涯学習課 文化センター ☎0266-58-4807

3-6. トライアルイベント

イベント結果

出演団体数

7

団体

(高校1校、中学4校)

出演者数

110

人

観客数

230

人



合計

340

人



別紙①

「『アオハルminiコンサート in 文化センター』
アンケート結果」 参照

3-6. トライアルイベント

委員からの意見・感想

1. イベント全体の評価と反応

- ・若者の演奏に感動した。特に合唱や弦楽器演奏がよかった。
- ・出演者として、このような機会があると練習にもなるのでよかった。
- ・ホワイエはよく響くので、音楽練習や短時間の演奏会など多様な用途での活用の可能性がある。
- ・逆に響きすぎる点もあるので、音楽的な視点で活用を検討すべき。
- ・高校生が司会を務めた点はよかったが、高校生が担当していたことを事前にアナウンスしたほうがよかった。

2. 多世代交流の成功

- ・イベントを通じて、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流する様子が見られてよかった。
- ・芝生で遊ぶ中高生の姿や、キッチンカーやイベント後に集まって会話を楽しむ姿が印象的で、文化センターが地域の交流拠点として機能していると感じた。

3. 建築と空間の可能性

- ・ホワイエやエントランスホールの音響や建築的特性を活かし、練習やパフォーマンスの場としての利用の可能性がある。
- ・ホワイエの芝生側のドアを開放し、さらに出入りしやすくすることで、外部との連携が円滑になる。
- ・夜の時間帯におけるダンス練習や芝生の活用の可能性を感じた。

4. 運営面での改善点

- ・楽器の搬入口を第2搬入口にするなど、正面玄関の混雑緩和が必要。
- ・狭いリハーサル通路やステージへの導線などの考慮が必要。
- ・多くの観客が立ち見をしていたため、観客用の椅子や床に座れるスペースの拡充が必要。席はお年寄り優先で利用してほしい。
- ・観客が多く集まったため、安全性を考慮し、避難経路についての周知が必要。
- ・マイクなどの備品の動きについて、出演者側ともしっかり連携を取ったほうがよかった。
- ・固定楽器は色分けしたバミリを利用するなどしたほうがよかった。

5. 今後の展望

- ・改修前に再度このようなイベントを開催してほしい。
- ・吹奏楽であれば芝生コンサートもできそう。
- ・落語やコント、日本の伝統文化、ジャズや民族音楽なども面白そう。
- ・ピアノなどの常設の楽器や、Bluetoothなど使える音響設備があれば利用の可能性は広がりそう。
- ・ストリートピアノを置くなどしたら面白いかもしれない。
- ・学校の部活動等の一環として持続可能性はあると思う。その場合、企画プロデュースを中学生に投げかけてみると面白い。

3-6. トライアルイベント

ホワイエ活用のポイント



Point 1

ホワイエの特性を活かした イベントの開催

- ・ホワイエのキャパシティや音響環境を生かした定期的なイベントの開催

Point 2

多世代の交流の場

- ・若者が発表できる場の提供
- ・子どもから高齢者まで多世代が交流できる場の提供

Point 3

気軽に立ち寄れる 空間づくり

- ・ソファやベンチ、WiFiの設置など 快適性の向上
- ・芝生や図書館との連携

Point 4

広報と飲食の充実

- ・SNS活用の強化
- ・キッチンカーなど飲食の充実

4. 総括

4. 総括

令和6年度における運営検討委員会の総括

- 令和6年度文化センター運営検討委員会は、計5回の委員会を開催し、運営検討委員会の概要や文化センターの改修内容をご理解いただきながら、リニューアル後の活用等に関する多くのご意見をいただいた。
- 委員会の中で計3回のワークショップを実施し、文化センターの将来像や具体的な事業展開など、活発な意見交換をしていただいた。
- ワークショップで提案いただいたアイデアをもとに、トライアルイベントをホワイエで開催し、リニューアル後の文化センターを活用する上での検証を行った。
- 令和6年度の委員会でいただいたアイデアや意見を参考に、リニューアル後のビジョン案をブラッシュアップした。
- 令和7年度も継続して委員会を開催し、リニューアルオープンを見据えたより具体的な検討を進める。

5. 今後のスケジュール

5. 今後のスケジュールについて

検討する内容

今年度にご意見いただいた文化センターの方向性や賑わい創出のためのアイデア等をもとに、それを実現するための運営体制や料金体系、また新設される部屋の使い方や広い視点での駅周辺との連携など、リニューアルオープンを見据えた検討を進める。

全体スケジュール

年度	回	日程（予定）	検討事項（予定）
R7年度	6	令和7年6月10日（火）	・ 令和6年度運営検討委員会のまとめについて ・ 意見交換会 ・ 新しい部屋/空間/周辺の活用方法について ・ 営業時間、料金体系などについて ・ 運営体制について など
	7	令和7年8月頃	
	8	令和7年12月頃	
	9	令和8年2月頃	・ 令和7年度運営検討委員会のまとめについて ・ 来年度以降のスケジュールについて